

## なからぎ

164号

2003年7月

## 卒業論文指導22年目に思うこと

福祉社会学部長 高原正興

現在の福祉社会学部における卒業論文関係の日程は、4月のガイダンス時に新4回生のゼミの配属を発表し、10月下旬に中間発表会を開催し、12月20日頃に卒業論文を提出させている。したがって、教員と「ゼミ生」との付き合いは、事実上5月から約8ヶ月間続くことになり、終盤になるほど「濃密化」していく。そこで私は、4月の最初の顔合わせの時に、「卒業論文ゼミの進め方」という文書をゼミ生に配付し、10月下旬には「卒業論文作成マニュアル」を配付して指導にあたっている。そして、このマニュアルに次の言葉を記している。

「学生にとって、卒論とは自己実現のための知的営為の産物である」。これは昔の赴任先である南九州の某大学で、22年前に「大学案内パンフ」に採用された文章であり、「我ながらカッコいい」と今も自惚れている。さらに続けて、「大学4年間の集大成として、また今まで6・3・3・4+ = 16+ 年間学んできた証として、君のこれまでの頭脳の結晶をつくろう」とアピールしている。このアピールは今まで必ずしも全てのゼミ生に届いてきたわけではないし、1970年前後に勉学上では「不毛な」学生生活を送った私の意地とノスタルジーの押し売りなのかもしれない。

ところで、私は家父長的な「抱え込み型」の指導はしたくないので、少なくとも卒論のテーマはゼミ生の自主選択にまかせて（「十代の性非行」ではダメとは言いが）、最小限の参考文献と文献の探し方の指導にとどめ、卒論の草稿も添削しない。このような私のスタンスのためか、「高原は実はクールでシビアだ」と評価されたり、「私を嫌っている」と誤解されたりもする。しかし、学部1期生が「突き放したような先生の指導が効いた」と謝恩会で語ってくれたことで、私は確信を深めている。もっとも、「突き放す」相手のゼミ生が意欲と自主性をもっていなければ悲惨な結果になるので（そんなこともあったかな）、この動機付けやフォローはこれからも教員サイドの重要な課題であるだろう。

常識的な結論になるが、卒論という「知的営為の産物」づくりのためには、「まず大学での勉学を通じて自己実現をめざそう」と思う学生諸君の意欲と自主性が大前提になる。そして、府立大の教員は、その意欲と自主性を何とかして引き出そうと、アレコレ思いを巡らせているはずである。だから学生諸君の「自己実現の思い」は早いにこしたことはない！そこで、3回生諸君はそろそろ図書を漁り始めてはどうだろうか？たとえ専門書でなくても、特に文学作品への親しみは文章表現力をアップさせると言われているし、豊かな文章力は卒論の薄い内容をも補う?!と私は思っている。

ゼミ生の卒論の「優・良・可」の評価は、実は指導教員にとってつらいものであり、指導に対するシビアな評価を教員に感じさせるものである。だから、学生諸君は早いうちに「勉学での自己実現の思い」を固めて、教員の期待に応えてほしい。

（たかはら まさおき：福祉社会学部教授）

## 女筆と京都

図書館運営委員 母利 司 朗

江戸時代の教科書(往来物という)が、近年、鮮明な写真版で数々の叢書として出版されるようになってきた。また東京学芸大学、奈良女子大学、広島大学他の大学図書館ホームページなど、往来物をふんだんにおさめた電子図書館の登場も目につく。私たちのほんの百年ほど前までの文化を支えてきた、その一方で近代以後ほとんど無視されてきたこのような往来物が、ようやくかけがえのない文化遺産として注目されだしてきた、ということであろうか。

そのような往来物の中でとりわけ注目されているものの一つに、女流書家の手になるいわゆる女筆手本と称されるものがある。小泉吉永氏による『女筆手本解題』(平成十年刊)や『江戸時代女性文庫』補遺編(平成十一年刊)などの出版により、近世中頃に花開いた女筆手本の各種情報は格段に得やすくなった。

女筆全盛の元禄頃(十七世紀の終わり頃)に書かれた『女重宝記』(女性向の必須教養虎の巻)には、その女筆についてこんな記述がある。

女中は、かりにも男の書きたる手本、よき手本なりとも習ひ給ふべからず。男の手を習ひたる女筆は、筆立てするどに見え、文章は何としても男らしきこと、ままあるものなり。よき女筆を手本とし給ふべ

し。御所方、武家の奥方によき女筆あるものなり。

近世における女筆家には、伝説の小野通をはじめ、大津の居初つな等がその初期に登場するが、最盛期の元禄から享保ころ、都では、長谷川妙体(後、妙貞)という御所下がりの女性が最も人気を集めていた(図1『女筆指南抄』口絵)。彼女は、御所奉公の折に妙喜尼という女性に書を学び、後、「花洛の町に出て女子を集めて手跡を指南」(明和九年刊『女用文章系車』)したという。「世に妙貞流と称し、例なき名誉をあらはす。近代にかくれなき能書なり」(同)ともいわれる。

妙体については、先の小泉氏がすでに様々な機会に紹介されているが、それによれば、元禄七年から宝暦三年までの六十年間に、なんと二三点もの手本が出版されたのだという。「生字(いきじ)」という、個性的で、時にはゲテモノのようにさえ感じられるほどの独特の散らし書きを得意とし、その門下に、長谷川を名乗る書家が輩出している。

これだけの書家であり、「花洛の町に出て女子を集めて手跡を指南」したというからには、版本はもとより、多くの弟子に与えた肉筆の手本がかならずや残されているはずなのだが、意外にもその伝存はまれであり、私の手元には、「筆海子 長谷川氏妙貞書(印)」とある中

期のものと、「筆海子 長谷川氏妙貞七拾八歳書」とある最晩年の、都合二種の卷子手本があるのみである。

ところが最近、京都寺町の古本屋に積まれた法帖類の中に、あるいは妙体あるいは妙体流を学んだ某人の筆跡かと思われるものをたまたま見ることができた。表紙の左半分に題簽があり、わずかに「村氏長谷川帖」と読み取ることができる。「し」や「の」の書き方などに妙体流の特徴がよくあらわれているが、妙体その人というより、妙体に学んだ門人の手本という可能性の方が大きいであろう(図2)。いずれにしても、このような折本型の法帖こそが、日常の手習いに使用されたものであり、当時の女性の机上に置かれていた手本そのものであろうと考えられる。

近世の往来物といえ、つい一昔前までは、大学図書館や地方自治体の公共図書館における収集の対象ではなかったし、古本屋にも、それらをまっとうな商品として扱うような雰囲気は薄かった。ましてや版本ならぬ手習いの書手本などがどのように扱われていたかは、想像するまでもない。近年の往来物資料影印出版の影響もあり、図書館や古本屋においても、このような往来物がとにかくにも本として扱われるようになってきたが、「花洛の町に出て女子を集めて手跡を指南」した妙体流の手本については、ほとんどその出現を耳にしない。平成の京の町に、妙体流の手本は、今どのように眠り続けているのであろうか。

(もり しろ：文学部教授)



図 1



図 2

## 平成14年度府立大学関係者著書寄贈図書一覧

著者等	書名	出版社	刊年
井口和起氏(学長)ほか	帝国主義の時代と現在	未来社	2002
赤瀬信吾氏(文学部助教授)ほか	冷泉家の秘蔵 解説	朝日新聞社	2002
赤瀬信吾氏(文学部助教授)ほか	百人一首研究集成 (百人一首注釈書叢刊 別巻1)	和泉書院	2003
水本邦彦氏(文学部教授)	絵図と景観の近世	校倉書房	2002
水本邦彦氏(文学部教授)ほか	京都と京街道 (街道の日本史 32)	吉川弘文館	2002
上島享氏(文学部助教授)ほか	興福寺旧蔵史料の所在調査・目録作成および研究 (科学研究費補助金研究成果報告書)		2001
上田純一氏(文学部教授)ほか	太宰府市史 中世資料編	太宰府市	2002
榎木謙周氏(文学部教授)ほか	流通経済史 (新体系日本史 12)	山川出版社	2002
渡辺信一郎氏(文学部教授)	天空の玉座 (ハンブルク)		2002
川分圭子氏(文学部助教授)ほか	国際商業 (近代ヨーロッパの探究 9)	ミドリ書房	2002
小野秀生氏(福祉社会学部教授)	現代福祉と公共政策	文理閣	2002
小野秀生氏(福祉社会学部教授)ほか	闘魂	京滋大学野球連盟	2000
小沢修司氏(福祉社会学部教授)	福祉社会と社会保障改革	高宮出版	2002
津崎哲雄氏(福祉社会学部教授)	ソーシャルワークと社会福祉	明石書店	2003
中村佐織氏(福祉社会学部助教授)	ソーシャルワーク・アセスメント	相川書房	2002
吉岡真佐樹氏(福祉社会学部教授)ほか	社会・経歴・公民科教育論	高宮出版	2002
橋本伸也氏(福祉社会学部助教授)ほか	EU・アジアにおけるロシア系住民の歴史と現状に関する総合的研究	京都大学経済研究所	2002
木戸康博氏(人間環境学部助教授)ほか	管理栄養士をめざす人の必携キーワード集	化学同人	2002
木戸康博氏(人間環境学部助教授)、 金本龍平氏(農学研究科助教授)ほか	栄養学英和辞典	金原出版	2002
大谷美生子氏(人間環境学部助教授)ほか	栄養指導のための栄養教育	八千代出版	2001
町田玲子氏(人間環境学部教授)ほか	記憶の中の「京の暮らし」調査研究(科学研究費補助金研究成果報告書)	京都府立大学京の暮らし研究会	2002
松原齋樹氏(人間環境学部教授)ほか	人と環境 (ライブラリー生活の科学 2)	コロナ社	2002
松原齋樹氏(人間環境学部教授)ほか	ハウスクリマ(CDブック)	海青社	2002
吉富康成氏(人間環境学部教授)	ニューネットワーク (シリーズ非線形科学入門 2)	朝倉書店	2002
徳岡正三氏(元農学部教員)訳	中国砂漠・沙地植物図鑑 木本編	東方書店	2002
高島弘文氏(名誉教授)	科学の哲学	晃洋書房	1993
高島弘文氏(名誉教授)ほか	批判的合理主義 第1巻	未来社	2001
梶原幹弘氏(名誉教授)	森林の施業を考える	森林計画学会出版局	2003
邑瀬章文氏(院生)	Nitrogen mineralization and application of silk waste to soil as a slow-release fertilizer (学位論文)		2002
楊曉陽氏(院生)	木材の非破壊評価へのモード解析法の適用 (学位論文)		2002
松本健司氏(院生)	Study on Tenascin-C in Habu snake Venom-induced glomerulonephritis (学位論文)		2002
栗田昭宏氏(院生)	Molecular analysis on gene expression mechanisms of endosperm tissue using new model rice and techniques (学位論文)		2002
寺岸明彦氏(院生)	非循環閉鎖型溶液栽培システムにおけるイチジクの挿し木当年苗を利用した単年型栽培に関する研究 (学位論文)		2002
谷尻かおり氏(卒業生)ほか	これからはじめるプログラミング基礎の基礎 他6冊	技術評論社	2001
加藤徳道氏(卒業生)	マンマーマは、いま。	タケムト社	1995
太田万壽子氏(卒業生)	句集花時計他4冊	本阿弥書店	2002
京都府立大学文学部 英語英米文学研究室	コルヌコピア 第11号	京都府立大学	2002
京都府立大学学術振興会	京都府立大学校楓講座講演ノート	京都府立大学	2002
京都府立大学地域学術調査研究センター	京都府立大学地域学術調査研究センター年報 第8号	京都府立大学	2002
京都府立大学自己評価委員会	飛翔なからぎ—京都府立大学自己点検・評価年次報告書 2001	京都府立大学	2002
京都府立大学同窓会	京都府立大学同窓会名簿	京都府立大学	2002
京都府立大学同窓会	S a ・ K u ・ R a (京都府立大学同窓会報) 第5号	京都府立大学	2002
京都府立大学空手道部	京都府立大学空手道部創部50周年記念誌	京都府立大学	2002
富澤公子氏(事務局職員)ほか	夢のある高齢期を迎えるための食生活支援・提案事業実施報告書他2冊	夢のある高齢期を考える京都プロジェクト	2002
富澤公子氏(事務局職員)	遊び心とおもしろ心の社会学入門	かもがわ出版	2003

2階閲覧室「府大コーナー」に配架していますのでご利用ください。

### 図書館資料紹介

### 書架巡りしてみませんか ~近世俳文学との出会い~

この度、『蕪村全集(全9巻)』講談社1992~刊(既刊分7冊)、『一茶全集(全10巻)』信濃毎日新聞社1976~1980刊の寄贈を受けました。これで江戸俳諧のビッグネーム3人の全集が図書館に並びます。ただ芭蕉全集は戦前の『大芭蕉全集(全12巻)』大観堂書店1936刊であり、新しいものがほしいところです。ちなみに、研究室には、『校本芭蕉全集(全10巻)』角川書店1962~1969が所蔵され

ていますし、『蕪村全集』、『一茶全集』も所蔵されています。

この機に、図書館所蔵の俳諧関係図書を書架でさがしてみました。個々の研究書とは別に、作品そのものが読めるものを、活字になったものでは、『古典俳文学大系(全16冊)』集英社1970～1972刊が、『貞門俳諧集』から『化政天保俳諧集』まで、江戸時代全般をカバーしています。

これは大正末から昭和はじめに刊行された『日本俳書大系(全17巻)』日本俳書大系刊行会(春秋社内)刊に、「新たな編集と校訂を加えられて、俳文学の古典はここに蘇った(月報11)」といわれるものです。さすがに芭蕉に関しては前述の全集のほか、多くの関連図書がありますし、弟子の其角は『宝井其角全集(全4巻)』勉誠社1994刊があります。蕪村は『蕪村全句集』おうふう2000刊に加え、今回全集が蔵書になりました。そして『一茶全集』で江戸俳諧の主流は読めそうです。

俳書の雰囲気味わうのには影印本が役立つでしょう。江戸初期では、『近世文学資料類従古俳諧篇(全48巻)』勉誠社1972～1976刊が、『犬子集(えのこしゅう)』から、『西鶴大矢数』、...など、貞門派、談林派と呼ばれる蕉門以前の作品を収録しています。また『天理図書館善本叢書と書之部(全80巻)』天理大学出版部1971～1986刊には、『談林俳諧集』、『古俳諧集』他があり、蕪村の後継者、高井几董の句集も『几董句稿』として収められています。

もっとも原本に直接ふれるには、天理図書館綿屋文庫のような有名コレクションのお世話にならなければなりません。最近インターネットで遠方からでも蔵書検索が可能ですが、綿屋文庫の冊子目録は『綿屋文庫連歌俳諧書目録』第1・第2天理図書館1954、1986刊が2階閲覧室二次資料コーナーにありますので利用してください。

この綿屋文庫をはじめ天理図書館の古典籍の収集に尽力した古書肆に弘文荘があり、その販売目録は解題書誌としてもすぐれたものであり、販売目録としての役割を終えても、目録全冊がCD-ROM化され売り出されるほどのもので、店主のもとで目録作成を手伝っていた人に近世文芸研究家森銑三がいます。近世人物研究や黄表紙などの研究にすぐれた業績があり、ことに西鶴に関しては一家言があり、『好色一代男』以外の浮世草子は西鶴の作ではないとの説をとっています。『森銑三著作集(全13巻)』(普及版)中央公論社1973～1974刊は図書館に所蔵しています。直接俳諧を扱った著作はありませんが、人物を通して背景としての江戸期を知る参考になると思います。

『古典俳文学大系』や『日本俳書大系』、あるいは『新日本古典文学大系(全100巻)』岩波書店1989～刊などのセット物には江戸俳諧の頂点に立つ三人以外の作品も『中興俳諧集』や『江戸座点取俳諧集』といったくりに収録されていますので、マイナーな人でもその作品を読むことができます。

マイナーといえ、『古句を観る』として、芭蕉の息のかかった俳書から、芭蕉や蕉門の主要人物でない無名作家の句を集め、「今も清新な句と生活に密着したわかり易い評釈が相まった滋味あふれる好著(文庫本表紙より)のある、柴田宵曲の著作集、『柴田宵曲文集(全8巻)』小沢書店1990刊も最近図書館に入りました。高浜虚子に認められ、ホトトギスの記者をしていましたが、寒川鼠骨の其角『五元集』の輪講会への参加後、ホトトギスを去り談話筆記の才能をもって三田村鳶魚の江戸研究に協力し後に俳諧中心の雑誌『<sup>こたぎ</sup>餅』を主宰し、『古句...』はそこに連載されたものです。

なお『三田村鳶魚全集(全27巻・別巻1)』中央公論社1975～1983刊も図書館にあります。風俗考証から江戸期を知るに役立つ図書です。

以上、簡単な紹介をさせていただきました。興味のある方は、分類番号911.3あたりの書架を散策してみてください。研究室にはより多くかつ専門的なものが所蔵されています。遡及入力が見込めず研究室図書にまで及んでいませんので、OPACだけでなく、カード目録も検索していただくとおもしろい資料に出会えるかもしれません。

追記 今回、前事務長より、退職にあたり文頭で記したほかにも『カラー図説日本大歳時記(全5巻)』講談社1981～1982刊、『俳文学大辞典』角川書店1995刊、『蕪村事典』桜楓社1990刊等の寄贈を受けました。紙面をかりてお礼申しあげます。

図書館日誌

平成15年5月23日(金)に平成15年度の第1回図書館運営委員会が開かれ、図書館所蔵資料データの遡及入力、8割程度終了したことなど、平成14年度事業の報告及び平成15年度事業計画について、事務長から説明、承認された。

また、「2000年版京都府立大学将来計画」で総合情報センターの計画や昨年度の図書館運営委員会で決定された「ハイブリッド型図書館構築に向けて」を受けた「情報基盤整備の推進、電子ジャーナルの取り扱い、電子図書館機能の取組」など基本的課題の整理・検討をはかるため、W.G(ワーキング・グループ)が承認、設置された。(メンバーは右表参照)

図書館運営委員会委員名簿

(平成15年4月1日現在)

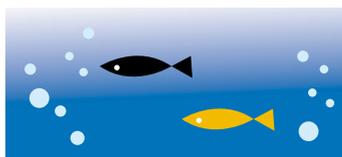
附属図書館	館長 (福祉社会学部教授)	小野 秀生	委員長
文学部	教授 助教授 助教授	母利 司朗 青木 博史 菱田 哲郎	W. G
福祉社会学部	教授 教授 講師	中島 正雄 吉岡真佐樹 森下 正修	W. G
人間環境学部	教授 教授 講師	大槻 耕三 松原 斎樹 リントゥルオト正美	W. G
農学研究科	教授 助教授 助教授	宮崎 猛 山田 秀和 飯田 生穂	W. G
附属図書館	事務長 係長	梅村 健一 久保 直弘	

(附属図書館のW. Gは館長、事務長、職員2名)

行事予定

7 月

- 1日(火)~16日(水) 通常開館  
(開館時間:午前9時~午後8時)
- 3日(木)~  
夏休み長期貸出実施  
(貸出冊数 6冊以内、返却期限 9月16日(火))
- 17日(木)~31日(木)  
夏期休業中  
(開館時間:午前9時~午後4時45分)
- 21日(月) 休館(海の日)



8 月

- 1日(金)~29日(金)  
夏期休業中  
(開館時間:午前9時~午後4時45分)
- 夏休み長期貸出実施(休室中を除く)  
(貸出冊数 6冊以内、返却期限 9月16日(火))
- 4日(月)~15日(金)  
2階閲覧室を休室(蔵書点検のため)

休室中の圖書の返却は、図書館1階西側職員専用入口横にある「返却ポスト」をご利用ください。

- 29日(金) 夏休み長期貸出終了

9 月

- 1日(月)~5日(金)  
夏期休業中  
(開館時間:午前9時~午後4時45分)
- 1日(月)~  
通常貸出実施  
(貸出冊数 3冊以内、返却期限 2週間)
- 8日(月)~  
通常開館  
(開館時間:午前9時~午後8時)
- 15日(月) 休館(敬老の日)
- 16日(火)  
夏休み長期貸出図書返却期限日
- 23日(火) 休館(秋分の日)